

令和元年 6 月 5 日

## 日本平和学会 2019 年度春季研究大会における開催校企画 「福島からみた原子力災害からの復興の現状と課題」の開催

日本平和学会 2019 年度春季研究大会において、開催校企画として部会「福島からみた原子力災害からの復興の現状と課題」を開催します。本学の人文・社会科学分野の研究者 3 名が登壇し、それぞれの視点から福島の復興の現状と課題について研究報告を行います。

非会員の学生・市民の方々も参加できますので、開催について広くご紹介いただくとともに、記事掲載と、当日の取材をよろしくお願ひします。

福島第一原子力発電所事故から 8 年が経過したものの、福島県の復興は道半ばであり、「被災者の生活再建や地域社会の再生」、「新たな産業の振興」、「地域を担う人材の育成」、「人々の心の平穩の回復」といった多くの課題が残されています。

このような福島県の現状と課題について全国の平和研究者と問題意識を共有し、その解決に向けて平和研究ができることについて考えるため、日本平和学会 2019 年度春季研究大会（令和元年 6 月 22（土）～ 23 日（日）後援：福島大学つくしまふくしま未来支援センター）において、開催校企画として部会「福島からみた原子力災害からの復興の現状と課題」を開催します。本学の人文・社会科学分野の研究者 3 名が研究報告を行い、それに基づいて福島県の復興の現状と課題について議論を深める予定です。

開催校企画を含め、研究大会の部会・分科会には、非会員の学生・市民の方々も参加できません（要資料代）。

### 【福島大学の研究者による報告】

○日時：令和元年 6 月 22 日（土）15：10～17：40

○場所：福島大学共通講義棟 L-1 教室

\* 日本平和学会サイト <https://www.psaj.org/>

（お問い合わせ先）

行政政策学類准教授 黒崎輝

電話：024-548-8299

メール：[kurosaki@ads.fukushima-u.ac.jp](mailto:kurosaki@ads.fukushima-u.ac.jp)